

マナー・プロトコール検定3級 問題例

【問題】 正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい。

- ①「ドレスコード」とは招待状に記される服装の基準で、男性には男性の、女性には女性の服装基準がそれぞれ示される。
- ②お見舞いの花は、香りの強いユリや水仙などは控えるべきだ。また、「死」や「苦」を連想させるシクラメン、あるいは鉢植えの花なども控えたほうがよい。
- ③赤ちゃんが誕生してから7日目を「お七夜」と言い、この日までに命名式を行う。市区町村役場に出生届けを提出するのもこの日までである。
- ④「着る」の謙譲語は「お召しになる」である。
- ⑤冬至は一年で最も日照時間が短い日である。この日に柚子湯に入ると邪気を祓いまたカボチャを食べると健康に過ごせるといわれている。
- ⑥外国でのビジネスの場合は、初対面の挨拶と握手がすんだら、親しみが感じるようにお互いファーストネームで呼び合うようにするのが望ましい。
- ⑦欧米では、女性がワインのビンを持って注ぐのは不作法とされている。
- ⑧名刺交換のときに相手の名前が読めなかったら、その場で確認しても失礼にはあたらないのですぐに聞く方がよい。
- ⑨不祝儀袋の水引きは、二度とおきないようにという願いを込めて真結びのものを使う。
- ⑩「恐れ入りますが、当社へ伺っていただけますか」とお客さまにご案内した。
- ⑪和食でお頭付きの焼き魚が出されたので、ひっくり返していただいた。
- ⑫一年の初めの日を「元日」、元日の朝を「元旦」という。

<解答>①× ②○ ③× ④○ ⑤○ ⑥× ⑦○ ⑧○ ⑨○ ⑩× ⑪× ⑫○